

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】令和 7 年 6 月 3 日(2025.6.3)

【公開番号】特開 2023-176036(P2023-176036A)
【公開日】令和 5 年 12 月 12 日(2023.12.12)
【年通号数】公開公報(特許)2023-233
【出願番号】特願 2023-179957(P2023-179957)
【国際特許分類】

B 6 4 U 10/13(2023.01)

10

B 6 4 U 60/50(2023.01)

B 6 4 U 101/64(2023.01)

【F I】

B 6 4 U 10/13

B 6 4 U 60/50

B 6 4 U 101:64

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 5 月 26 日(2025.5.26)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配送物を保持する搭載部を備える飛行体であって、

前記搭載部または前記配送物は、着陸状態またはホバリング状態に前記搭載部または前記配送物が前後方向において後傾するように機体に取り付けられており、
前記搭載部は、前記機体の上方から前記配送物を格納する構成である、

30

ことを特徴とする飛行体。

【請求項 2】

前記搭載部または前記配送物は、巡行時に前記搭載部または前記配送物が略水平となるように前記機体に取り付けられている、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の飛行体。

【請求項 3】

着陸状態またはホバリング状態において、前記搭載部の中心位置は、機体の前後方向の中央位置より前方側であり、且つ、揚力の発生中心点より下側に設けられる、

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の飛行体。

【請求項 4】

40

着陸状態またはホバリング状態において、前記搭載部の中心位置は、機体の前後方向の中央位置より後方側であり、且つ、揚力の発生中心点より下側に設けられる、

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の飛行体。

【請求項 5】

着陸状態またはホバリング状態において、前記搭載部の中心位置は、機体の前後方向の中央位置より後方側であり、且つ、揚力の発生中心点より上側に設けられる、

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の飛行体。

【請求項 6】

着陸状態またはホバリング状態において、前記搭載部の中心位置は、機体の前後方向の中央位置より前方側であり、且つ、揚力の発生中心点より上側に設けられる、

50

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の飛行体。

【請求項 7】

着陸状態またはホバリング状態において、前記搭載部の中心位置は、機体の前後方向の中央位置と一致または略一致であり、且つ、揚力の発生中心点近傍または機体の重心近傍に設けられる、

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の飛行体。

【請求項 8】

着陸状態またはホバリング状態において、前記搭載部の中心位置は、機体の前後方向の中央位置と一致または略一致であり、且つ、揚力の発生中心点より上側に設けられる、

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の飛行体。

10

【請求項 9】

着陸状態またはホバリング状態において、前記搭載部の中心位置は、機体の前後方向の中央位置と一致または略一致であり、且つ、揚力の発生中心点より下側に設けられる、

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の飛行体。

【請求項 10】

前記搭載部は、開閉可能な蓋部により前記配送物を格納する構成である、

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の飛行体。

【請求項 11】

前記飛行体は、少なくとも前後に脚部を備え、

前方側の前記脚部は、後方側の前記脚部よりも長い、

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の飛行体。

20

30

40

50